

### ひびわれの調査・診断

- 1 目視調査
- 2 ひびわれ幅の調査
- 3 ひびわれ長さの調査
- 4 コンクリート厚み調査
- 5 調査表作成
- 6 診断・協議
- 7 ミクロGP工法決定

#### <調査・診断上の留意点>

- 表面に塗膜等がある場合  
表面のひびわれ幅(見掛け幅)と  
躯体のひびわれ幅(真のひびわれ幅)とが  
異なる場合があるので必ず表面塗膜を  
除去して測定する

### 標準工法 ひびわれ注入施工手順

- 1 下地処理
- 2 注入孔位置の決定
- 3 台座取付け
- 4 ひびわれシール工
- 5 注入剤(GP-396)準備

- (1) 気温と材料の可使用時間を確認する。
- (2) 異物が混じらないように清潔な混練用の容器を用意する
- (3) 混和液(0.8kg)とパウダー(1kg)を1セットとし、練り上がりは約1ℓになる。混和液→パウダーの順番で容器に入れる。
- (4) 1分以上ハンドミキサーを用いて均一に攪拌する。
- (5) 容器の底の隅は混合しにくいので特に気をつける。
- (6) 攪拌中、容器への付着残等がないことを確認しながら十分に混練する。
- (7) キャブコンに注入剤を満杯に入れキャップをしっかり閉めた後、本体に取付ける。

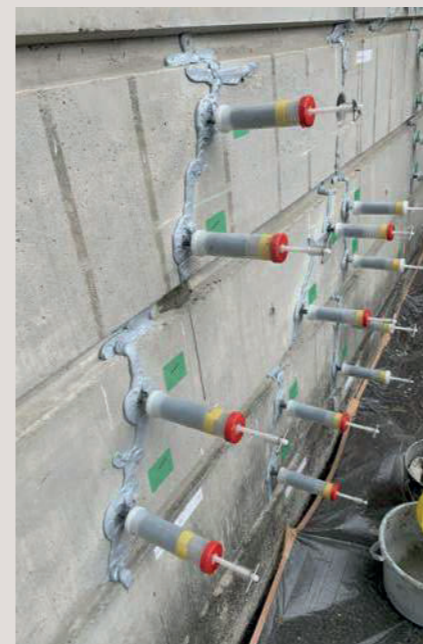
- 6 注入開始
- 7 注入状況の確認
- 8 注入完了
- 9 養生
- 10 撤去
- 11 仕上げ・清掃
- 12 完了

#### <施工上の留意点>

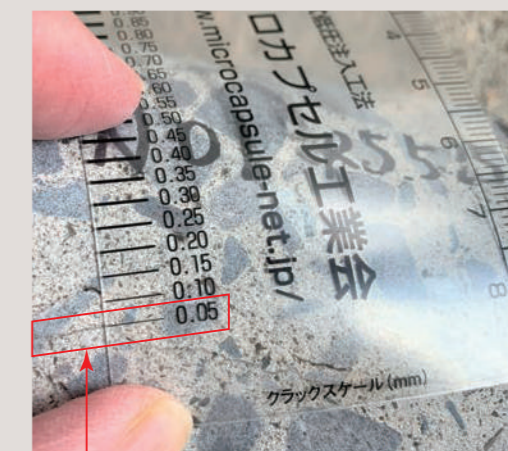
- 注入剤の適用温度を確認する
- 材料は直射日光を避け、乾燥した場所に保管する
- 夏季は特に施工環境温度に注意する
- 安全リングにロープを通すと落下を防止、高所の施工でも安心
- 冬期5℃域では、夜間の冷え込み等を考慮し、撤去の際には、固化を十分確認してから撤去する。
- GP-396は強アルカリの為、作業時は保護メガネ・手袋・マスクを着用する



注入性比較動画



注入深度：145mm



低圧により0.05mmにも充填されている